

平成 26 年度  
 特定非営利活動法人瀬戸内こえびネットワーク  
 事業報告

\* こえび隊活動人数は平成 26 年度 1 月～平成 27 年度 12 月の統計から

A 受託（芸術祭関連団体からの事業受託により収益を得ているもの）

1. 作品公開等運営

① 瀬戸内国際芸術祭関連施設の運営

(ア) 芸術祭関連施設の管理と作品案内業務等

◎管理施設（全 16 施設）

- 【瀬戸内国際芸術祭実行委員会】島キッチン、ピピロッティ・リスト、塩田千春、行武治美、川島猛とドリームフレンズ、高橋治希、栗真由美、オンパ・ファクトリー、やさしい美術プロジェクト、田島征三
- 【公益財団法人福武財団】森万里子、マイク+ダグ・スターン（～9/23）、大竹伸朗、レアンドロ・エルリッヒ（カフェ・イアラ）
- 【ベネッセ・ホールディングス】ストーム・ハウス
- 【愛知県立芸術大学】MEGI HOUSE

◎活動実績(平成 26 年 1 月～12 月)

作品受付（有償）		豊島	島キッチン	男木島・女木島	大島	合計
開館日数	H25 年度	—	18 日	—	—	
	H26 年度	138 日	173 日	86 日	22 日	
	合計	138 日	191 日	86 日	22 日	のべ 448 日
こえび隊参加者数		501 人	364 人	820 人	44 人	のべ 1729 人

② ボランティアサポーターの募集及び管理運営

(ア) こえびミーティング

開催日時	場所	内 容	参加者	こえび
7 月 11 日 19:30-21:00	高松	瀬戸内国際芸術祭 2014 夏会期の説明、総合ディレクターによるレクチャー	28 人	25 人
9 月 16 日 19:30-21:00	高松	瀬戸内国際芸術祭 2014 秋会期の説明	33 人	31 人
3 月 13 日 19:30-21:00	高松	瀬戸内国際芸術祭 2014 春会期の説明	45 人	42 人



(イ) 広報

- ・こえび隊募集チラシを作成し、こえびミーティングや作品受付などで配布した
- ・ウェブサイトの運営：<http://koebi.jp>  
 募集中：94 記事、お知らせ：12 記事、こえび隊活動ブログ：73 記事、催し物：31 記事 合計 210 記事
- ・Facebook, twitter の活用：<https://www.facebook.com/koebitai>

## (ウ) 登録者数、情報提供

・お知らせメンバー：3,901名、活動メンバー：1,357名（3年以内に活動に参加）

・こえび通信（メールレター）の配信（平成26年4月～平成27年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
配信回数	4	2	2	3	3	2	3	1	2	1	3	3	29

## B 自立（独自事業として収益確保を目指すもの）

### 2. 寄付等

21名から寄付を受けた

### 3. 原稿等

北川フラム「瀬戸内物語」四国新聞に毎月1回月末を中心に掲載した

### 4. 講演等

講演会に出演し瀬戸内国際芸術祭やこえび隊の活動について発表した

- ・平成26年5月29日 高松ロータリークラブ（高松市）
- ・平成26年2月8日 奥能登国際芸術シンポジウム（珠洲市）

### 5. 作品メンテナンス・制作管理

アート作品のメンテナンスや作品撤去・調整・制作を行った

27活動、60回実施

のべ189人のこえび隊が参加（平成26年1月～12月）

\*活動詳細は、別紙「活動一覧表」に記載

### 6. 豊島ガイド

豊島ガイドの企画、広報、運営を行った

12回実施、参加者24人

のべ20人のスタッフとこえび隊がガイド

\*活動詳細は、別紙「活動一覧表」に記載

### 7. コンシェルジュガイド

コンシェルジュガイドの企画、広報、コーディネート、運営を行った

20回実施、参加者288人

のべ35人のスタッフとこえび隊がガイド

（うち瀬戸内国際芸術祭作品公募現地見学会 2回実施 参加者60名含む）

\*活動詳細は、別紙「活動一覧表」に記載



## 8. その他こえび事務局活動

### ①女木島・男木島マップ制作

(平成 27 年 3 月 31 日発行)



### ②実習生受け入れ

神戸学院大学の学生 1 名を平成 26 年 8 月 9 日～9 月 30 日まで実習生として受け入れた

## 9. 島キッチン

### ①島キッチン (豊島)

丸ノ内ホテルシェフと協力して、食事などの調理と提供を行った

木金：軽食営業、土日月祝：レストラン営業、繁忙期 (GW・夏・SW)：連続営業、閑散期 (冬)：土日祝のみ営業

5 月・7 月・8 月・9 月は、みかん小屋を数日オープン

7 月～3 月は、月 1 回、島民向けに惣菜を販売した

1 月～3 月は、月 1 回、島内の社会福祉法人みくに園の昼夜のお弁当提供を行った



	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
運営日数	22	22	21	21	22	22	20	22	6	6	10	11	205
食数	810	1,253	763	857	1,654	1,503	938	1,042	150	164	325	608	10,067
1 日平均食数	36.8	56.9	36.3	40.8	75.1	68.3	46.9	47.3	25.0	27.3	38.0	34.3	49.1

\*平成 24 年度 食事数合計 7,397 食

\*平成 25 年度 食事数合計 2,1851 食



### ②カフェアラ女木島

福武財団から委託を受けて、スイーツとドリンクの調理・提供を行った

土日祝：カフェ営業、繁忙期 (GW・夏・SW)：連続営業、閑散期 (冬)：休み

8 月・9 月は、カレーライスを期間限定で提供

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	3 月	合計
運営日数 (日)	11	13	9	12	20	15	8	3	4	95
来店者数 (人)	235	548	211	312	752	965	225	63	156	3,467
1 日平均人数 (人)	21	35	23	26	38	64	28	21	39	36

\*8/13 めこんナイトプログラム、9/13-23 瀬戸内生活工芸祭 2014 期間に特別開館



### ③カフェシヨル(大島)

やさしい美術プロジェクトから運営を引き継ぎ、スイーツとドリンクの調理・提供を行った

月 1 土日：カフェ営業

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
運営日数	2	2	2	2	台風	2	2	2	2	2	2	2	22
来店者数	41	31	58	20	0	29	40	44	28	18	18	18	345

\*8 月の大島の夏祭りに、ラタトウィユドックを提供予定だったが台風で中止



#### ④食の連携

- ・各島で採れた果物をジャムなどに加工し、スイーツやジェラートとして各レストラン・カフェで販売した



### 10. 物販

芸術祭公式グッズや島キッチン手ぬぐいなどを、島キッチン、こえび事務局で販売。また県内等 9 か所店舗で委託販売した。

上位 3 点	売上 点数	商品名	販売点数	売上金額	
		1	芸術祭関連てぬぐい	約 1800 点	約 133 万円
		2	島キッチンてぬぐい	約 700 点	約 71 万円
		3	ポストカード 2010、2013	約 400 点	約 8 万円



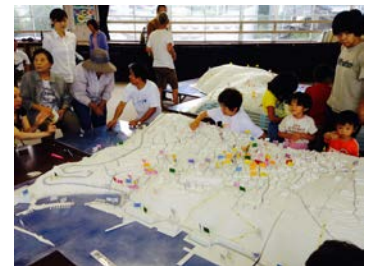
上位 3 点	在庫 点数	商品名	販売点数	仕入れ値	
		1	ポストカード 2010、2013	約 4100 点	約 37 万円
		2	芸術祭関連てぬぐい	約 1500 点	約 69 万円
		3	島キッチンてぬぐい	約 900 点	約 29 万円



### 11. イベント

#### ①ART SETOUCHI 2014 イベントの企画・調整・実施

- ・ART SETOUCHI 2014 イベントの企画・広報・調整・実施  
34 イベントを実施、参加者 1674 人  
のべ 200 人のこえび隊が参加(事前の準備含む、平成 26 年 1 月～12 月)  
\*活動詳細は、別紙「活動一覧表」に記載



#### ②外部事業

- ・中房総国際芸術祭 いちはらアート×ミックス  
平成 26 年 1 月～5 月 1 名 (イベント企画・実施)、5 名 (研修)
- ・大地の芸術祭 2014、越後妻有トリエンナーレ「大地の芸術祭 2015」  
平成 26 年 8 月～3 月 1 名 (イベント企画・実施)



#### ③大島ネットワークづくり事業及び大島アーティスト・イン・レジデンス事業

- ・ネットワークづくり事業  
期間：平成 26 年 8 月～3 月  
内容：大島関係者を調査しアンケートを実施。結果分析と今後のネットワーク組織化に関する原案を提案  
アンケート数：144 (うち回答 87)
- ・大島アーティスト・イン・レジデンス事業  
期間：平成 26 年 10 月 25 日・26 日  
内容：「大島に行こう！2 日間連続ラジオ番組づくりワークショップ」アーティストと小中学生 11 名が大島青松園内でワークショップを開催した。中学生は園内に宿泊した。ラジオ番組 (成果物) は多くの入所者の方に楽しんでもらえるように園内放送を行った。  
のべ 27 名のこえび隊が参加



## C ミッション（利益は追及できないが島や芸術祭やこえび隊などをよくするもの）

### 12. 島行事への参加

各島の行事などへ参加した

#### 24 活動

のべ 62 人のこえび隊が参加（平成 26 年 1 月～12 月）

\*活動詳細は、別紙「活動一覧表」に記載



### 13. 島の課題を考える

#### ①大島

こえび事務局島担当が高松市の主催する「大島のあり方を考える会」の委員となった。自治会、青松園、これまで大島に関わってきた人・団体、行政、芸術祭関連をつなげる役割を担ってきている。現在約 70 名の入所者の方とながりながらこれからの大島の将来の具体的な姿を考えていっている。

こえび活動：5 活動、のべ 37 人のこえび隊が参加（平成 26 年 1 月～12 月）

\*活動詳細は、別紙「活動一覧表」に記載



#### ②豊島

2017 年の産業廃棄物処理を見据え、月 1 回のお誕生会を開催することで、島の課題・展望を探っていった。開催回数を重ね、また毎月島内 500 軒のお宅を 3～4 日かけて訪問し案内状をお渡しするなかで、これまで出会わなかった方々や、その方々の意見、気持ちをお聞きするようになった。さらに、誕生会に参加する人々も多様化してきた。

こえび活動：20 活動、のべ 91 人のこえび隊が参加（平成 26 年 1 月～12 月）

\*活動詳細は、別紙「活動一覧表」に記載



#### ③女木島・男木島

女木運動会や文化祭の実行委員会と一緒に企画から参加し、住民の方と一緒に活動することで、女木島の資源、課題を探っていった。自治会、コミュニティー、観光協会、各種団体、福武財団、愛知県芸と協力し、なるべくオール女木島で活動できるような場面を作っていった。

男木小中学校が再開し活気のある男木島に合わせて、様々なイベントを企画していった。特に子どもたちが中心になり、そこに高齢者も居合わせられるような雰囲気づくりに努めた。また多くの取材がある中、芸術祭経由の取材が過密にならないように配慮した。



#### ④中讃島

開館しているアート作品が少ないなか、島の行事やイベントに積極的に参加した。それぞれの島の特徴や島の方々の雰囲気、行政の方たちの対応など、現状確認とともに継続して足を運ぶことによって顔をつなぐ活動をした。



## ⑤連絡船プロジェクト

宇野港の連絡船プロジェクトを主催する玉野市と協力してプロジェクトを推進する勉強会を実施。プロジェクト自体の企画から、ホームページの方針設定、イベントの企画など行った。

## ⑥その他の島

芸術祭としての全体的な動きの中で、各島の課題を理解し、それに沿った活動を行った。

## 14. コアチーム

### ①こえびガイドチーム

- ・毎月1回こえびガイド勉強会を実施  
13回実施、のべ55名参加
  - ・現地研修会を実施  
4回実施（小豆島・粟島・豊島・別府）、のべ18人が参加
- \*活動詳細は、別紙「活動一覧表」に記載

### ②連絡船こえびチーム

- ・定期的に連絡船勉強会を実施
  - ・11回実施、のべ56名参加
- \*活動詳細は、別紙「活動一覧表」に記載

### ③各島コアこえび

こえび隊発足時からともに活動してくれている数十名のコアこえびたちの事務局への積極的な参加を行った。各島の重要なイベントや島行事に合わせて、熱心に活動に取り組んでくれているこえびさんに声をかけて参加してもらった。その過程の中で、島の課題やこえび隊の関わり方、芸術祭としての方針を学び、今後主体的に活動できるようにバトンを渡していている。

### ④勉強会

主にコアこえび対象の勉強会や  
総合ディレクターによる大学講義の情報発信などを行った。  
7回実施 \*活動詳細は、別紙「活動一覧表」に記載

## 15. こえび育成

### ①サービスの向上

こえび隊募集方法の変更、コミュニケーションや情報発信の質的向上、情報管理の強化など。こえび隊との連携強化（計画的な情報発信、情報の充実、こえびへの連絡の迅速化）などを行った。

### ②各種活動プラン実施

幅広い年代（主婦やシニア層など）に対応する活動プランの提供、新規参加者に対する活動支援（新人研修「はじめてのこえび活動」、参加者（コアメンバー）のスキルアップ（勉強会の開催、新人指導や遊撃など経験に応じて役割を分担）、島民との協働体制づくりを行った。

### 20 活動

のべ78人のこえび隊が活動（平成26年1月～12月） \*活動詳細は、別紙「活動一覧表」に記載

